

第51期事業報告書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)



株式会社 **UEX**

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第51期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の営業状況をとりまとめましたので、ここに第51期事業報告書としてお送り申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長 押 本 俊 明

第51期 営業報告書

（平成16年4月1日から
平成17年3月31日まで）

1. 営業の概況

(1) 企業集団の営業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、企業収益が改善し民間設備投資が拡大したほか、雇用環境の好転により個人消費も底堅く推移し、景気は緩やかな回復が続きました。しかし年度後半は、輸出が減速し、情報技術関連分野の在庫調整が広がるなど、一部で弱い動きがみられ成長は鈍化しました。

このような状況の中で、当社企業集団は営業力の強化と利益重視の積極的な営業展開に全力を挙げた結果、売上高は494億7千8百万円と前期に比べ23.2%増加し、営業利益は前期の3.8倍の23億6千6百万円、経常利益は前期の4.7倍となる22億1千4百万円を計上しました。また、投資有価証券売却益3千3百万円を特別利益として計上したほか、役員退職慰労金制度が廃止されるのに伴う過年度役員退職慰労引当金繰入額、遊休資産（土地）の減損損失など特別損失3億3千6百万円を計上した結果、当期純利益は10億5千6百万円（前期の3.2倍）を計上しました。

なお、当社は平成17年1月創立50周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。当期の利益配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えして、1株につき普通配当15円に創立50周年記念配当5円を加えた20円といたしたく存じますので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本事業報告書の記載金額は、単位未満の端数を四捨五入により表示しております。

<ステンレス鋼その他金属材料の販売事業>

ステンレス鋼業界におきましては、輸出はアジア向けを中心に底堅く推移し、国内においては景気回復を追い風に、産業用機器用、電気機器用、自動車用を中心に需要が盛り上がりました。この結果、平成16年（暦年）のステンレス鋼生産量（熱間圧延鋼材ベース）は前年を3.1%上回り過去最高となる343万トンを記録しました。一方、ニッケルをはじめとする原料価格が高騰したこともありステンレス鋼価格は上昇しましたが、韓国などからの輸入材の流入が増加し、市況への影響が懸念される状況となりました。

このような状況の中で、当社企業集団はきめ細かな価格対応の徹底と積極的な営業展開に努めた結果、売上高は469億7千8百万円と前期に比べ23.1%増加し、営業利益は21億9千7百万円（前期の4.3倍）となりました。

<ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業>

中国市場においては厳しい状況が続きましたが、国内においては、景気回復を背景に業績は比較的好調に推移しました。この結果、売上高は10億4千4百万円と前期に比べ9.9%増加し、営業利益は5千4百万円と前期に比べ4.9%増加しました。

<機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業>

韓国、中国、タイ向けに輸出は堅調に推移しました。一方、国内においては、前半顧客の投資意欲に盛り上がりを欠き、受注競争が激化するなど厳しい状況が続きましたが、年度後半において受注が活発となり、売上高は14億5千6百万円と前期に比べ37.2%増加し、営業利益は6千9百万円（前期の9.7倍）となりました。

(2) 企業集団の設備投資の状況

当期に実施いたしました企業集団の設備投資の総額は1億9千2百万円であり、その主なものは、当社伊勢原スチールサービスセンターにおける整地工事及び切断設備の更新であります。

(3) 企業集団の資金調達の状況

当社において、平成16年12月17日を払込期日として450,000株の公募新株式発行を行い、3億3百万円の資金調達を行いました。

(4) 企業集団が対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかながら回復基調を維持するものと思われませんが、世界的な原材料の需給逼迫・価格上昇が景気の先行きに対する不安材料となっており、当社企業集団を取りまく経営環境は予断を許さない状況にあります。

ステンレス鋼その他金属材料の販売事業におきましては、高水準の流入が続く輸入材の動向や、中国、韓国を中心としたステンレス鋼の生産能力拡大の動きが波乱要因として懸念されます。当社企業集団は、取引メーカー及び商社との連携強化に努めるとともに、引き続ききめ細かな価格対応や、新規取引先の開拓など積極的な営業展開により収益の確保に努めてまいります。

ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業におきましては、生産効率の向上を図るとともに、顧客サービスの徹底と新製品の開発により収益力の向上を図る所存であります。

機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業におきましては、提案型営業の徹底により環境・食品関連設備分野における営業基盤の強化を進めるとともに、新規需要分野の開拓により収益の安定化を図ってまいります。また、輸出はアジア市場への積極的な営業展開を図る所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 企業集団及び当社の営業成績及び財産の状況の推移

(単位：百万円)

区 分	第48期 (平成14年3月期)	第49期 (平成15年3月期)	第50期 (平成16年3月期)	第51期(当期) (平成17年3月期)
①企業集団の状況				
売上高	36,776	35,629	40,165	49,478
経常利益	60	△15	467	2,214
当期純利益	152	△19	329	1,056
1株当たり当期純利益	27円33銭	△7円38銭	53円45銭	178円03銭
総資産	24,711	26,154	28,770	33,544
純資産	4,380	4,305	4,778	6,087
②当社の状況				
売上高	35,075	33,747	38,254	46,993
経常利益	27	71	526	2,037
当期純利益	170	95	458	1,233
1株当たり当期純利益	30円59銭	13円57銭	77円19銭	209円62銭
総資産	23,929	25,203	27,967	32,639
純資産	4,091	4,141	4,755	6,231

- (注) 1. △印は、損失を示します。
 2. 当社は、第51期(当期)から、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第19条の2に規定する連結計算書類を作成しております。第50期以前については、証券取引法に基づく連結財務諸表の数値を記載しております。
 3. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出してしております。なお、期中平均発行済株式数は、自己株式数を控除してしております。
 4. 1株当たり当期純利益は、第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成14年9月25日 企業会計基準適用指針第4号)により算出してしております。
 5. 第49期は、ステンレス鋼国内需要の動きが鈍く売上高が減少し、当社単体業績は黒字を確保したものの、機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業において民間設備投資の低迷から経営環境が悪化し、連結業績は赤字となりました。
 6. 第50期は、ステンレス鋼需要が一般的に盛り上がり、積極的な営業展開を図った結果、業績は連結・単体ともに回復しました。また、総資産・純資産も増加しました。
 7. 第51期(当期)の業績の状況につきましては、前記「1. 営業の概況(1) 企業集団の営業の経過及び成果」に記載のとおりであります。

2. 企業集団及び当社の概況(平成17年3月31日現在)

(1) 企業集団の主要な事業内容

当社企業集団は、当社、子法人等8社、持分法適用会社1社で構成され、ステンレス鋼その他金属材料の販売、ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売、機械装置の製造・販売及びエンジニアリングを主な事業内容としています。

各事業区分に属する主要な商品等は次のとおりであります。

事業区分	主要な商品等	会社名
ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	ステンレス鋼、その他の鉄鋼製品、超合金、チタン	株式会社UEX(当社) 株式会社UEX管材 日進ステンレス株式会社 ステンレス急送株式会社
ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	ステンレス鋼製ウェザークーパー、インテリア・エクステリア製品、サイン製品、ステンレス鋼管製品、家庭用ステンレス製品	株式会社ステイド 株式会社大崎製作所 上海威克斯不銹鋼有限公司
機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	一般産業用機械装置、鋼管製造用機械、エンジニアリングサービス	上野エンジニアリング株式会社 株式会社三益UEX

① 企業集団の売上高の内容

事業区分	売上高	構成比
ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	46,978 百万円	95.0 %
ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	1,044	2.1
機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	1,456	2.9
合 計	49,478	100.0

② 当社の品目別売上高の内容

品 目	売 上 高	構 成 比
ステンレス鋼板	12,745 百万円	27.1 %
ステンレス鋼管	10,096	21.5
ステンレス条鋼	8,452	18.0
ステンレス建材	4,515	9.6
その他のステンレス鋼	3,446	7.3
小 計	39,254	83.5
普通鋼・特殊鋼	619	1.3
超合金・チタン	2,943	6.3
そ の 他	4,177	8.9
合 計	46,993	100.0

② 子法人等

上野エンジニアリング株式会社	東京営業所（東京都府中市）
株式会社 U E X 管 材	本社（神奈川県伊勢原市）
ステンレス急送株式会社	本社（東京都江東区）
株式会社 三 益 U E X	本社（神奈川県伊勢原市）
株式会社 ス テ イ ド	本社（東京都江東区）
日進ステンレス株式会社	本社（神奈川県川崎市）
株式会社 大 崎 製 作 所	本社（埼玉県さいたま市）
上海威克斯不銹鋼有限公司	本社（中華人民共和国上海市）

(2) 企業集団の主要な事業所

① 当社

事 業 所	所 在 地	事 業 所	所 在 地
本 社	東京都品川区		
(支 店)		(スチールサービスセンター)	
大 阪 支 店	大阪府大阪市	三島スチールサービスセンター	静岡県三島市
九 州 支 店	福岡県北九州市	伊勢原スチールサービスセンター	神奈川県伊勢原市
北 陸 支 店	新潟県新潟市	東北スチールサービスセンター	宮城県柴田町
東 北 支 店	宮城県柴田町		
(営 業 所)		(配 送 セ ン タ ー)	
名 古 屋 営 業 所	愛知県名古屋市	東 京 配 送 セ ン タ ー	東京都江東区
関 東 営 業 所	栃木県河内町	大 阪 配 送 セ ン タ ー	大阪府大阪市
東 海 営 業 所	静岡県三島市	名 古 屋 配 送 セ ン タ ー	愛知県名古屋市
福 岡 営 業 所	福岡県福岡市	九 州 配 送 セ ン タ ー	福岡県北九州市
		北 陸 配 送 セ ン タ ー	新潟県新潟市

(3) 株式の状況

① 会社が発行する株式の総数 11,200,000株

② 発行済株式の総数 6,000,000株

(注) 平成16年12月17日を払込期日とする公募増資により、発行済株式の総数は450,000株増加しております。

③ 株主数 870名 (前期末比349名増加)

④ 大株主

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持 株 数	出資比率	持 株 数	出資比率
株 式 会 社 メ タ ル ワ ン	854,000株	14.2%	-株	-%
三 井 物 産 株 式 会 社	569,000	9.5	65,445	0.0
住 友 商 事 株 式 会 社	470,000	7.8	249,880	0.0
U E X 社 員 持 株 会	362,820	6.0	-	-
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	274,000	4.6	-	-
小 田 保 中	270,000	4.5	-	-
上 野 竹 枝	233,000	3.9	-	-
第 一 生 命 保 険 相 互 会 社	134,000	2.2	-	-
白 井 悦 孝	106,520	1.8	-	-
日 鐵 商 事 株 式 会 社	78,000	1.3	-	-

(注) 当社は、株式会社みずほ銀行の金融持株会社である株式会社みずほフィナンシャルグループの普通株式50株 (出資比率0.0%)、優先株式100株 (出資比率0.0%)を保有しております。

⑤ 自己株式の取得、処分等及び保有

(a) 取得株式

普通株式 2,860株

取得価額の総額 2,357千円

(b) 処分株式

当期中に処分した自己株式はありません。

(c) 決算期における保有株式

普通株式 11,060株

(注) 平成17年2月18日開催の取締役会の決議により、平成17年4月1日付をもって1単元の株式の数を1,000株から100株に変更しました。

(4) 従業員の状況

① 企業集団の状況

事 業 区 分	従 業 員 数	前 期 末 比 増 減
ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	338名	(+) 3名
ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	46名	(+) 3名
機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	35名	(+) 2名
合 計	419名	(+) 8名

(注) 従業員数には、嘱託を含み、臨時従業員は含まれておりません。

② 当社の状況

従 業 員 数	前 期 末 比 増 減	平 均 年 齢	平 均 勤 続 年 数
296名	(+) 1名	39.2歳	12.7年

(注) 従業員数には、嘱託を含み、臨時従業員は含まれておりません。

(5) 企業結合の状況

① 重要な子法人等の状況

会 社 名	資 本 金	当社の出資比率	主 要 な 事 業 内 容
	千円	%	
上野エンジニアリング株式会社	60,000	90.0	一般産業用機械装置の設計・製作
株 式 会 社 U E X 管 材	12,800	79.4	鋼管、鋼材、継手、バルブ類の販売
ステンレス急送株式会社	10,000	100.0	貨物自動車運送事業
株 式 会 社 三 益 U E X	10,000	100.0	鋼管製造用機械及び鋼管精密加工部品の製造・販売
株 式 会 社 ス テ イ ド	40,000	63.8	インテリア製品の企画・設計・販売
日進ステンレス株式会社	20,000	100.0	ステンレス鋼材の販売
株 式 会 社 大 崎 製 作 所	15,500	100.0	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
上海威克斯不銹鋼有限公司	US\$470,000	100.0	家庭用ステンレス鋼加工製品の製造・販売

② 企業結合の経過

株式会社三益UEXは、債務超過を解消し資本の充実を図るため、株主割当増資（平成17年2月22日）及び減資（平成17年3月26日）を実施し、資本金が20,000千円から10,000千円となりました。

③ 企業結合の成果

前記「1. 営業の概況（1）企業集団の営業の経過及び成果」に記載のとおりであります。

(6) 主要な借入先

借入先	期末借入金残高	借入先の有する当社の株式	
		持株数	出資比率
株式会社みずほ銀行	3,285 百万円	274 千株	4.6 %
株式会社東京三菱銀行	1,155	36	0.6
株式会社UFJ銀行	1,137	-	-
商工組合中央金庫	788	-	-
株式会社東京都民銀行	690	48	0.8

(7) 取締役及び監査役

地 位	氏 名	担 当 又 は 主 な 職 業
代表取締役社長	小 田 保 中	営業・物流担当 経理部長 九州支店担当兼大阪支店長 経営企画担当兼総務部長 弁護士
専務取締役	押 本 俊 明	
取締役	板 倉 忠 義	
取締役	本 田 純 一	
取締役	岸 本 則 之	
常勤監査役	藤 井 誠	
常勤監査役	白 井 悦 孝	
監査役	小 川 秀 史 郎	

(注) 1. 監査役小川秀史郎は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

2. 当期中における取締役の地位の異動は次のとおりであります。

異動年月日	氏 名	異動後の地位	異動前の地位
平成16年6月1日	押 本 俊 明	専務取締役	常務取締役

3. 当期中における取締役の担当職務の異動は次のとおりであります。

異動年月日	氏 名	異動後の担当職務	異動前の担当職務
平成16年10月1日	本 田 純 一	九州支店担当兼大阪支店長	物流担当兼流通部長

(8) 会計監査人に支払うべき報酬等の額

	支 払 額
1. 当社及び子法人等が会計監査人に支払うべき報酬等の合計額	16百万円
2. 上記1. の合計額のうち公認会計士法第2条第1項の監査証明業務の対価として当社及び当社の子法人等が会計監査人に支払うべき報酬等の合計額	16百万円
3. 上記2. の合計額のうち当社が会計監査人に支払うべき会計監査人としての報酬等の額	16百万円

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、商法特例法に基づく監査と証券取引法に基づく監査の監査報酬の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、3. の金額にはこれらの合計額を記載しております。

3. 決算期後に生じた企業集団の状況に関する重要な事実
特記すべき事実はありません。

連結貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債・少数株主持分及び資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	23,852,357	(負債の部)	
現金及び預金	2,321,814	流動負債	23,592,342
受取手形及び売掛金	13,388,016	支払手形及び買掛金	15,132,942
たな卸資産	7,201,080	短期借入金	6,580,373
繰延税金資産	205,460	未払法人税等	875,386
その他	831,265	賞与引当金	319,091
貸倒引当金	△ 95,278	その他	684,550
固定資産	9,691,397	固定負債	3,842,132
有形固定資産	7,189,279	長期借入金	1,789,836
建物及び構築物	1,012,885	退職給付引当金	633,189
機械装置及び運搬具	515,584	役員退職慰労引当金	447,727
土地	5,575,821	再評価に係る繰延税金負債	949,623
建設仮勘定	13,735	その他	21,757
その他	71,254	負債合計	27,434,474
無形固定資産	212,717	少数株主持分	22,097
連結調整勘定	180,994	(資本の部)	
その他	31,723	資本金	1,512,150
投資その他の資産	2,289,401	資本剰余金	1,058,008
投資有価証券	1,014,095	利益剰余金	1,883,320
長期滞留債権	149,156	土地再評価差額金	1,384,176
繰延税金資産	632,014	其他有価証券評価差額金	277,216
その他	642,989	為替換算調整勘定	△ 23,303
貸倒引当金	△ 148,853	自己株式	△ 4,384
資産合計	33,543,754	資本合計	6,087,183
		負債、少数株主持分及び資本合計	33,543,754

連結損益計算書

(平成16年4月1日から
平成17年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	金 額
(経常損益の部)		
営業損益の部		
売上高		49,478,331
売上原価	41,359,707	
販売費及び一般管理費	5,752,287	47,111,994
営業利益		2,366,337
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	16,934	
受取配当金	8,294	
生命保険返戻金	1,500	
保管料収入	2,062	
販売手数料収入	60,670	
持分法による投資利益	1,866	
その他	29,127	120,453
営業外費用		
支払利息	197,263	
有形売却損	60,734	
その他	15,206	273,203
経常利益		2,213,587
(特別損益の部)		
特別利益		
投資有価証券売却益	32,674	32,674
特別損失		
固定資産売却損	16,585	
固定資産売却損	222	
会員権評価損	80	
役員退職慰労金	4,500	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	178,417	
減損損失	136,082	335,886
税金等調整前当期純利益		1,910,375
法人税、住民税及び事業税	884,645	
法人税等調整額	△38,341	846,304
少数株主利益		7,718
当期純利益		1,056,353

貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	22,503,629	(負債の部)	
現金及び預金	1,935,552	流動負債	22,812,315
受取掛手形	3,470,641	支払手形	9,838,489
有価証券	9,392,419	買掛金	5,170,670
商貯	21,447	短期借入金	6,235,620
前払費用	6,779,522	未払費用	345,196
前払税金	32,110	未払法人税等	36,931
繰延税金資産	16,058	前受り金	799,769
貸倒引当金	30,656	預り金	24,568
△ 100,845	182,871	賞与引当金	32,016
△ 10,134,962	743,198	その他	281,530
有形固定資産	6,774,207	固定負債	47,526
建物	832,549	長期借入金	3,595,713
構築物	58,456	退職給付引当金	1,618,420
機械及び装置	420,302	役員退職慰労引当金	557,038
車両運搬具	1,696	役員退職慰労引当金	447,727
工具器具及び備品	56,876	再評価に係る繰延税金負債	949,623
土地	5,390,593	その他	22,905
建設仮勘定	13,735	負債合計	26,408,028
無形固定資産	25,289	(資本の部)	
電話加入権	17,947	資本金	1,512,150
ソフトウェア	6,698	資本剰余金	1,058,008
その他	644	資本準備金	1,058,008
投資その他の資産	3,335,466	利益剰余金	2,019,649
投資有価証券	966,027	利益準備金	340,125
関係会社株	814,391	利益準備金	500,000
出資	26,812	任意積立金	500,000
子会社出資	107,602	別途積立金	500,000
長期前払費用	417,046	当期未処分利益	1,179,524
長期前払費用	6,132	土地再評価差額金	1,384,176
保険積立	282,835	その他有価証券評価差額金	260,963
会費	73,450	自己株式	△ 4,383
繰延税金資産	854,865	資本合計	6,230,563
貸倒引当金	202,549		
△ 416,243	△ 416,243	負債及び資本合計	32,638,591
資産合計	32,638,591		

損 益 計 算 書

(平成16年4月1日から
平成17年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益		46,992,710
売上高		
営業費用		
売上原価	39,957,989	
販売費及び一般管理費	4,949,860	44,907,849
営業利益		2,084,861
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息及び配当金	62,187	
雑収入	148,859	211,046
営業外費用		
支払利息	190,711	
手形売却損失	58,795	
雑損失	8,965	258,471
経常利益		2,037,436
(特別損益の部)		
特別利益		
投資有価証券売却益	32,674	32,674
特別損失		
固定資産除却損	15,104	
会員権評価損	80	
子会社株式評価損	18,000	
過年度役員退職慰労引当金繰入額	178,417	
減損損失	136,082	347,683
税引前当期純利益		1,722,427
法人税、住民税及び事業税	779,488	
法人税等調整額	△ 289,938	489,550
当期純利益		1,232,877
前期繰越利益		172,408
土地再評価差額金取崩額		225,761
当期未処分利益		1,179,524

利 益 処 分

(単位：円)

摘 要	金	額
当期未処分利益		1,179,523,777
これを次のとおり処分いたします。		
配 当 金	119,778,800	
(普通配当1株につき 15円)		
(記念配当1株につき 5円)		
役員賞与金	40,000,000	
(うち監査役賞与金)		(1,500,000)
別途積立金	830,000,000	989,778,800
次期繰越利益		189,744,977

株 主 メ モ

決 算 期 日	毎年 3 月 31 日
配当金受領株主確定日	利益配当金 3 月 31 日 中間配当金 9 月 30 日 (中間配当をする場合)
定 時 株 主 総 会	毎年 6 月中
名 義 書 換 代 理 人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 3 号 UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	東京都江東区東砂七丁目 10 番 11 号 郵便番号 137-8081 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
基 準 日	毎年 3 月 31 日 そのほか臨時に必要なときは、あらかじめ 公告いたします。
公 告 掲 載 新 聞 名	東京都において発行する日本経済新聞 当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに 損益計算書を当社のホームページに掲載いたし ております。 http://www.u-netsurf.ne.jp/UEX/

